

展示テーマ

知って防ごう

野生鳥獣被害



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和7年12月1日(月)～12月25日(木)

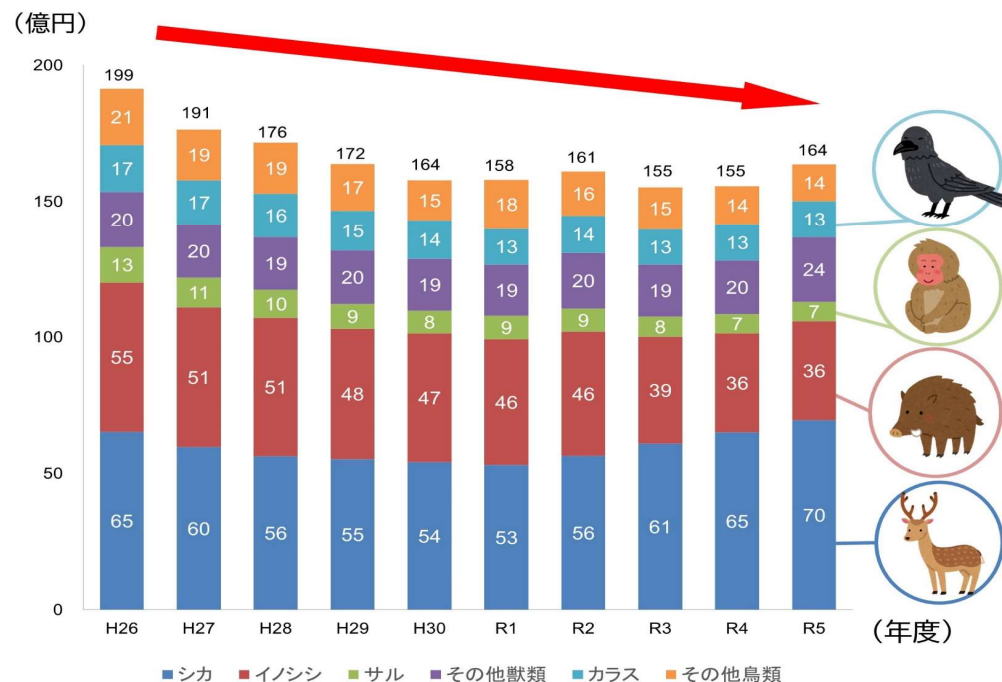


# 【知って防ごう 野生鳥獣被害①】

## 全国の野生鳥獣による農作物被害の概況

- 野生鳥獣による農作物被害額は、**近年、160億円前後で推移**しており、H26年度と比べると減少傾向である。
- しかし、鳥獣被害は**営農意欲の減退、耕作放棄地の増加**等をもたらし、被害額として数字に現れる以上に**農山漁村に深刻な影響**を与えている。
- 近年は**シカ・イノシシの被害が多く**、2種で約6割を占める。
- 鳥獣被害が深刻化している要因としては、**鳥獣の生息域の拡大**、狩猟による捕獲圧の低下、耕作放棄地の増加等が考えられる。

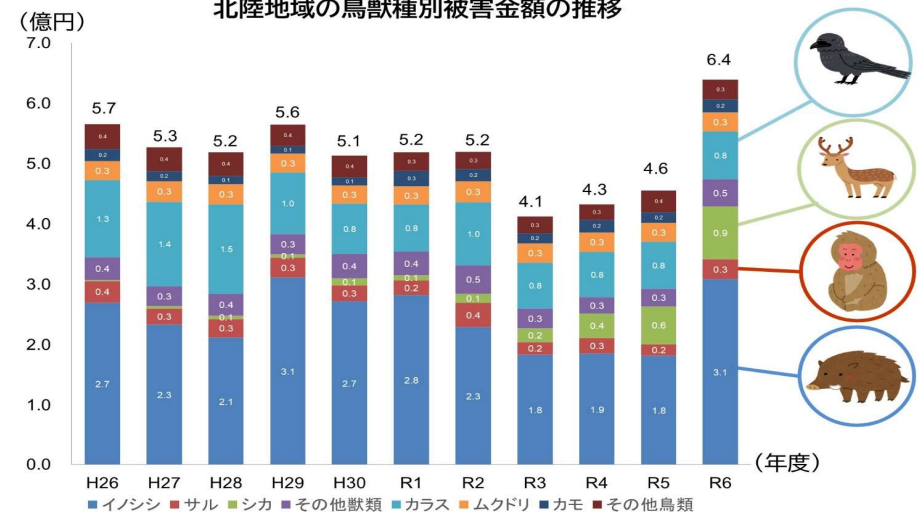
### 全国の鳥獣種別被害金額の推移



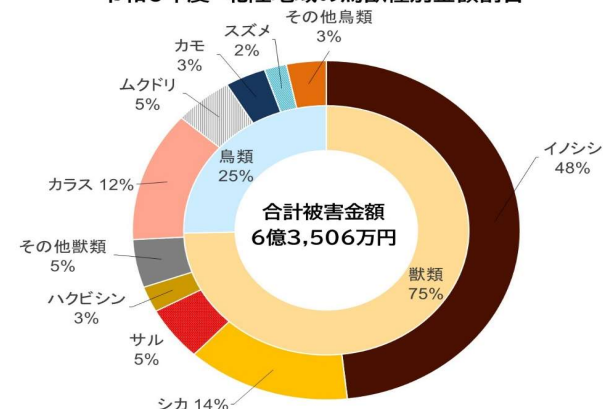
## 北陸地域の野生鳥獣による農作物被害の概況

- 北陸地域の野生鳥獣による農作物被害額は、**近年、5億円程度**の横ばいで推移していたが、R6年度は約6.4億円となった(速報値)。
- R6年度の被害額のうち、全体の**約5割がイノシシ**であり、次いでシカ、カラスの順で多く、この3種で被害金額の7割以上を占める。
- 全国で被害の多いシカは、**R6年度はR5年度に比べ約3千万円増加**し、1年で約1.5倍となった。

### 北陸地域の鳥獣種別被害金額の推移



### 令和6年度 北陸地域の鳥獣種別金額割合

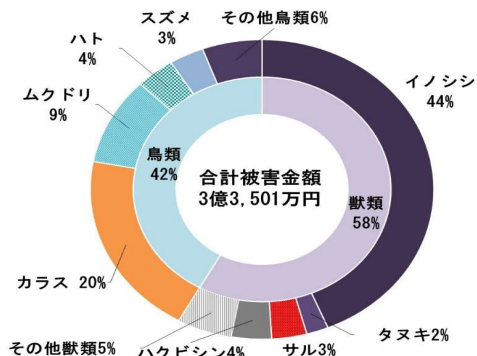




# 【知って防ごう 野生鳥獣被害②】

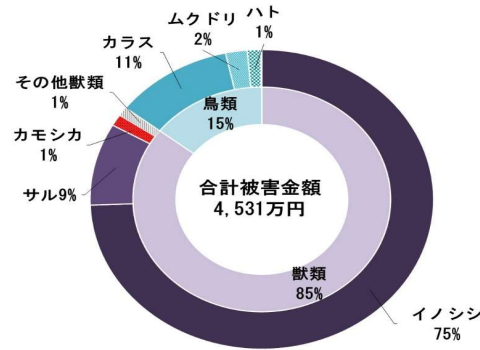
## 北陸農政局管内各県別の野生鳥獣による 令和6年度農作物被害状況の特徴

### 新潟県



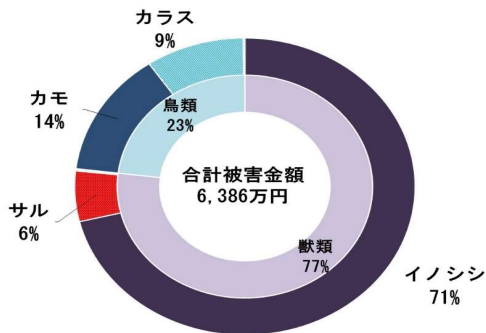
1位:イノシシ (14,266万円)  
2位:カラス(6,502万円)  
3位:ムクドリ(3,094万円)  
・イノシシ被害が4割以上  
・稲の被害が多い(全体の約5割)

### 富山県



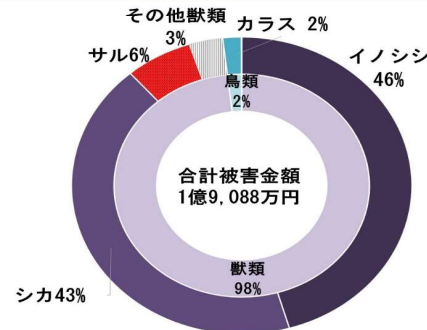
1位:イノシシ (3,371万円)  
2位:サル(401万円)  
3位:カモシカ(56万円)  
・イノシシ被害が約8割  
・稲の被害が多い(全体の約7割)

### 石川県



1位:イノシシ (3,180万円)  
2位:カモ(862万円)  
3位:カラス(599万円)  
・イノシシ被害が約8割  
・稲の被害が多い(全体の約7割)

### 福井県



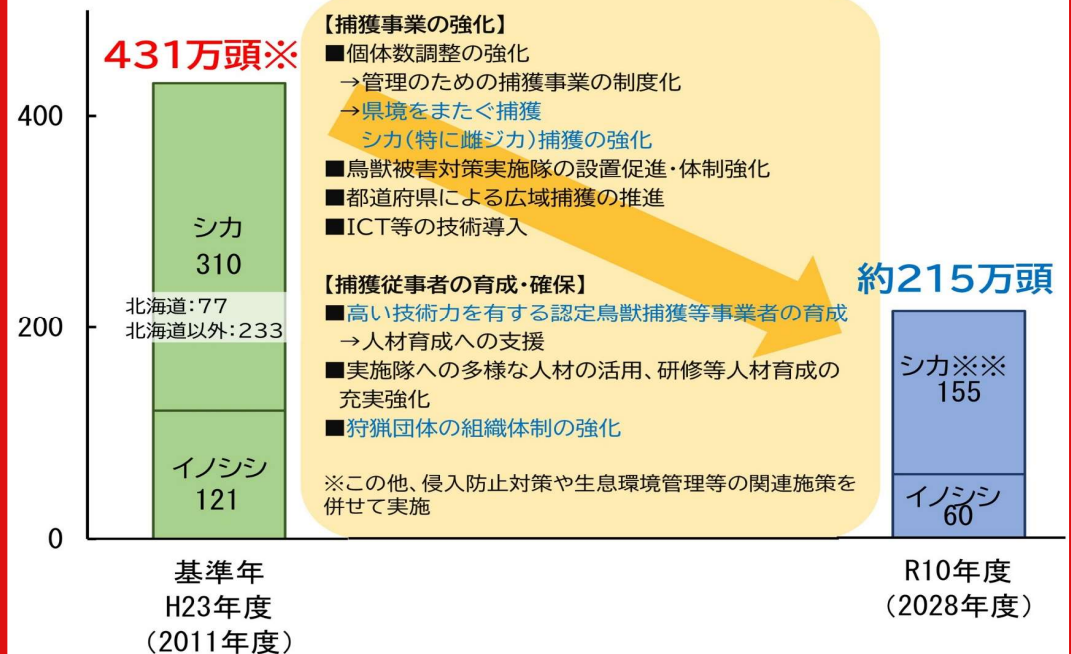
1位:イノシシ (8,680万円)  
2位:シカ(8,239万円)  
3位:サル(1,218万円)  
・獣類による被害がほぼ10割  
・北陸では被害の少ないシカ被害が約4割  
・稲の被害が多い(全体の約8割)

## シカ・イノシシの捕獲強化対策と捕獲目標

○生態系や農林水産業等に深刻な被害を及ぼしている野生鳥獣について、**更なる捕獲対策の強化**を図り、

- ①シカは、令和10年度までに、生息頭数の平成23年度水準からの半減を目指す。
- ②イノシシは、平成23年度水準の半減を**早期に達成**し、その後も被害軽減に向けて**捕獲圧を維持**する。

シカ・イノシシ  
個体数(万頭)



鳥獣被害対策は  
個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の**3本柱が重要**！

※【環境省における令和4年度の推定値(北海道の個体数は北海道が独自に推定)  
※※北海道分は北海道エゾシカ管理計画(第6期:令和4～9年度)で示している基準年の推定個体数の半数(39万頭)を用いた。



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害③】

## 鳥獣被害対策の3本柱

○鳥獣被害対策は、**個体群管理**、**侵入防止対策**、**生息環境管理**の3本柱が鉄則。

○この3つの活動をいかに徹底してできるかが、対策の効果を大きく左右。

### ◆ 第1の柱…個体群管理(捕獲)



檻・わなの設置



銃猟

農作物に被害を及ぼす個体(加害個体)を檻やわなで捕獲したり、銃による狩猟により、**生息個体数を管理**します。

### ◆ 第2の柱…侵入防止対策(柵の設置等による侵入防止)



侵入防止柵の設置



サル追い払い  
(パチンコ)

侵入防止柵の設置や集落ぐるみの追い払いにより、**加害個体の侵入を防ぎます**。  
(追い払いには、パチンコ、花火、エアガン等を用います)

### ◆ 第3の柱…生息環境管理(放任果樹の伐採、刈払いによる餌場・隠れ場の撲滅)



緩衝帯整備



放任果樹の伐採

餌となるような放任果樹の除去や、緩衝帯を整備して隠れ場をなくすことで、**加害個体が近寄りにくくします**。



放任果樹等は加害個体への「無意識の餌付け」となっている可能性がある

## 捕獲わなの種類

### ◆ 箱わな

- ・**罠の中に餌をまきイノシシを誘導**し扉のロックが外れると扉が閉まります。
- ・頻繁に移動させると誘因効果が低くなります。



餌となる米ぬかなどを置きます

箱わな設置状況



捕獲状況

### ◆ 囲いわな

- ・**群れごとに捕獲する罠**です。
- ・捕獲後の処理は(止め刺し)くくりわなに比べて安全ですが罠になれるまで時間がかかることがあります。



囲いわな設置状況



捕獲状況

### ◆ くくりわな

- ・ワイヤーで作った輪によって、イノシシやシカの**脚をくくって捕まえる罠**です。
- ・設置場所の選定や設置手法に一定の技術が必要です。さらに、捕獲後の処理は他の罠に比べ経験が必要です。



くくりわな



捕獲されたイノシシ



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害④】

## 柵の種類

### ◆ 電気柵

- ・電気ショックの痛みを経験させ、柵を設置した農地に近寄り難くさせます。
- ・柵線を確認させるために動物の目線に合わせて設置することも重要です。



水田に設置された電気柵



電気柵設置作業

### ◆ 金網柵(ロール状)

- ・金属製のためナイロン製等の網よりも強度に優れます。また、ロール状であるため運搬性にも優れます。
- ・編み目を広げられていないか定期点検が必要で、地面を掘り起こされてくぐり抜けられないよう多めに杭を打つ等の地際補強対策が重要です。



水田に設置された金網柵



### ◆ ワイヤーマッシュ柵(パネル状)

- ・丈夫な鋼線等を縦横に溶接して作られ、パネルごとに小分けできるので運搬性に優れます。設置時は、パネルの表裏に注意が必要です。
- ・金網柵と同様に地際補強が重要です。また、上部30cmを外側に20～30度折り曲げると、飛び越しをあきらめさせる効果(忍び返し効果)があります。



水田に設置されたワイヤーマッシュ柵



掘り返し防止

※現地写真より

## クマにご注意下さい！



各地でクマによる人身被害が多発しています。  
農作業や鳥獣対策を行う際は、クマとの不意の遭遇に十分ご注意ください。

### クマの出没を防ぐためには

#### (1) 農作業や鳥獣対策を行う際に注意すべき事項

- ・作業中にラジオなど音の出るものを携帯するなど、自分の存在をアピールすること。
- ・クマ類の出没情報に留意し、クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時には、周囲に気を付けること。
- ・頻繁にクマ類が出没する地域においては、できるだけ単独での作業は避けること。
- ・森林、斜面林などのそばの農地は、クマ類の出没ルートとなりやすいので特に注意し、安全確認を行いながら周囲の灌木の刈払いなどを行うこと。

#### (2) 誘引物の適切な管理

- ・クマ類を誘引する生ゴミや野菜などの収穫残さ等は適切に処理すること。
- ・農地では果樹園が最も被害を受けやすいところであり、収穫後は果実を放置せず適切に除去すること。
- ・クマ類は、収穫物収納庫に入り込んで採食することもあるため、収納庫はきちんと施錠するなど管理を徹底すること。
- ・草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質も、クマ類の誘引物となるため、保管場所等に注意すること。
- ・鳥獣対策により捕獲した個体がクマ類の誘引物とならないよう、処理施設への持ち込みや焼却を行わずに埋設する場合には、十分な深さに埋設するなど適切に処理すること。

### 捕獲活動時の安全確保

- ・捕獲活動時は、クマに遭遇する可能性が一層高まることから、クマ類の出没等に係る事前の情報収集を行うなど安全管理を徹底すること。
- ・クマに遭遇することを想定し、防護のためクマ撃退スプレー等の装備品を携帯すること。
- ・捕獲活動に当たっては、遠隔で罠の状況を監視できる機器等、見回りの回数を減らし、クマの危険回避にも有効なICT機器の活用も検討すること

### もしも、クマに遭遇してしまったら

(近くにクマがいることに気がついた場合)

- ・落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりとその場から離れ、命を守る行動をとること。
- ・クマを驚かすので、大声を出したり、走って逃げることは避けること。

(クマの痕跡を見つけた場合)

- ・農作業中にクマ類の足跡等の痕跡を見つけた場合は、迅速な捕獲にも有効なことから、速やかに市町村へ報告すること。

農林水産省では、緩衝帯整備、電気柵などの侵入防止柵の設置、捕獲等の取組について鳥獣被害防止総合対策交付金で支援をしています。(詳しくは裏面をご覧ください。)



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑤】

令和7年10月

## スマート捕獲等普及加速化事業 モデル地区一覧

	ドローン
	センサーカメラ
	位置情報取得・地図化
	GPS首輪発信機
	捕獲通知
	遠隔捕獲
	追い払い
	侵入防止柵監視
	申請・捕獲確認

### 北陸

#### ⑧新潟県新発田市



#### ⑨石川県



#### ⑩福井県越前市



### 近畿

#### ⑪兵庫県



### 北海道

#### ①北海道津別町



#### ②北海道別海町



### 東北

#### ③岩手県奥州市



### 関東

#### ④茨城県銚田市



#### ⑤埼玉県飯能市



#### ⑥山梨県甲斐市



#### ⑦長野県大町市



### 中国四国

#### ⑫広島県



#### ⑬香川県東かがわ市



#### ⑭愛媛県鬼北町



#### ⑮高知県香美市



#### ⑯高知県大豊町



### 九州

#### ⑰佐賀県佐賀市



#### ⑱熊本県人吉市



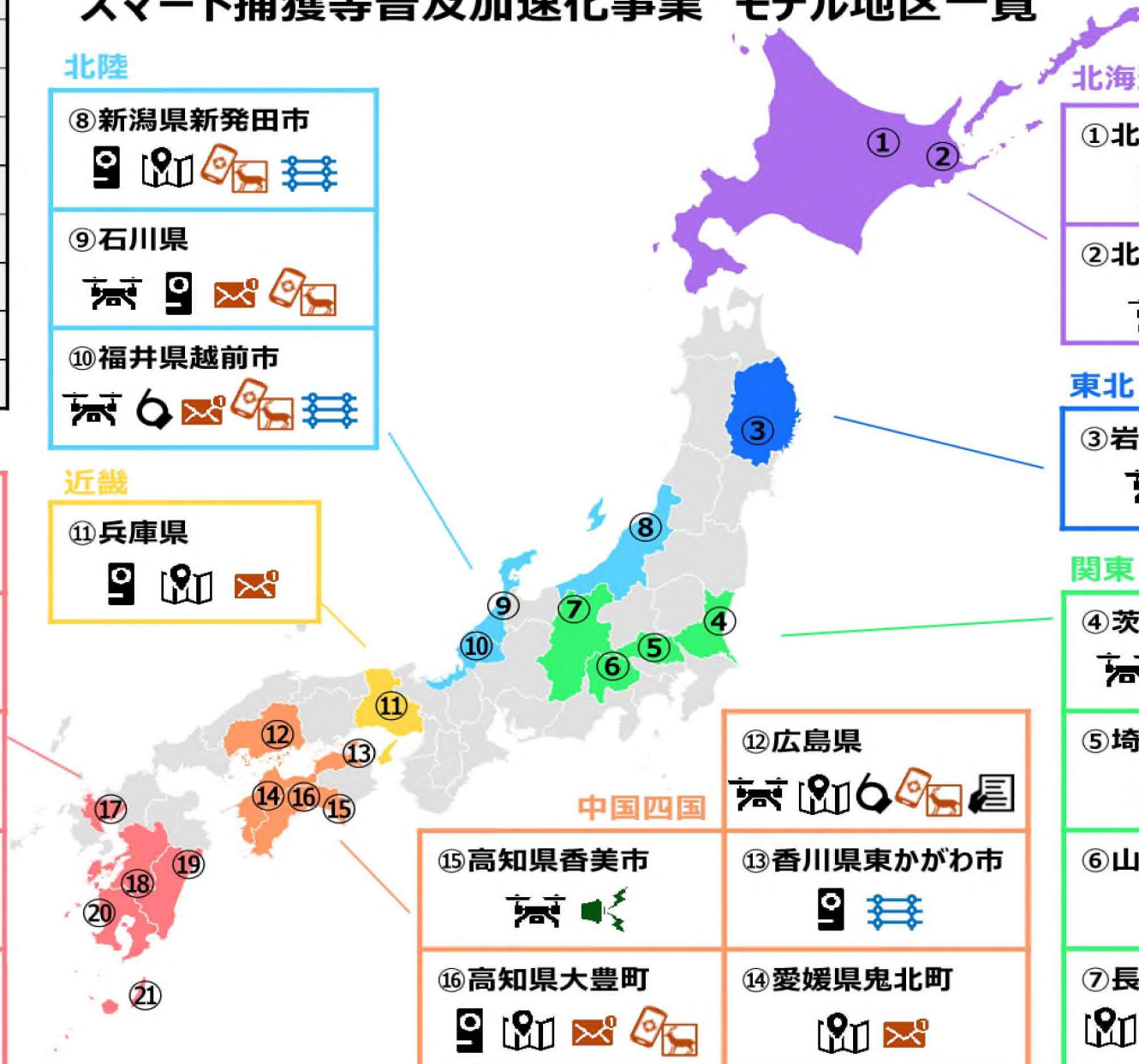
#### ⑲宮崎県延岡市



#### ⑳鹿児島県いちき串木野市



#### ㉑鹿児島県南種子町





# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑥】

## スマート捕獲等普及加速化事業

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	石川県	イノシシ、シカ、サル	◎	—	—	—

### 現状・課題

現在、イノシシ・シカの捕獲対策や、サルの捕獲・追払い活動を実施しているが、対策を行う農業者・捕獲者の高齢化が進んでおり、少人数でも効果的に実施できる対策が求められている。

一方で、近年若手の捕獲者が増加しており、捕獲対策に携わっているものの、非農業者が多く、農地周辺に設置するわなの見回り等が負担となっている。

### 事業概要

- ・捕獲通知機器とセンサーカメラによる、捕獲の効率化・見回りの省力化
- ・ドローンを活用した、捕獲活動効率化等の実証
- ・ICT捕獲檻を活用した、サルの群れ捕獲の実証

### 活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・センサーカメラ
- ・捕獲通知機器
- ・ドローン
- ・ICT捕獲檻（遠隔捕獲）

### モデル地区の普及範囲

- ・県内

### 【イメージ】

#### ■ 鳥獣わな作動通知装置

- ・わなの作動をメール等で通知
- ・わな稼働率の向上・省力化



#### ■ 鳥獣わな監視装置

- ・自動撮影画像、動画がクラウドにアップされ、遠隔確認が可能



#### ■ ドローンを使った捕獲の効率化

- ・イノシシ、シカ等の生息調査、捕獲活動にドローンを活用し、捕獲活動を効率化



#### ■ 効率的なサル対策に向けた検証

- ・ICT捕獲檻によるニホンザル排除群を対象とした全頭捕獲の実施



ICT機器を活用し実施隊・捕獲隊のスマート化を推進



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑦】

スマート捕獲等普及加速化事業

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	新潟県新発田市	イノシシ、サル	◎	○	○	—

## 現状・課題

近年、イノシシによる農作物被害が増加傾向にある上、市内養豚場では家畜伝染病も発生しており、イノシシ対策は喫緊の課題となっている。加えて、捕獲を行う猟友会の高齢化や対策を行う中山間地域の人口減少などにより、人手不足といった課題も発生しており、限られたマンパワーの中でイノシシ対策を効果的に行っていくことが必要。

## 事業概要

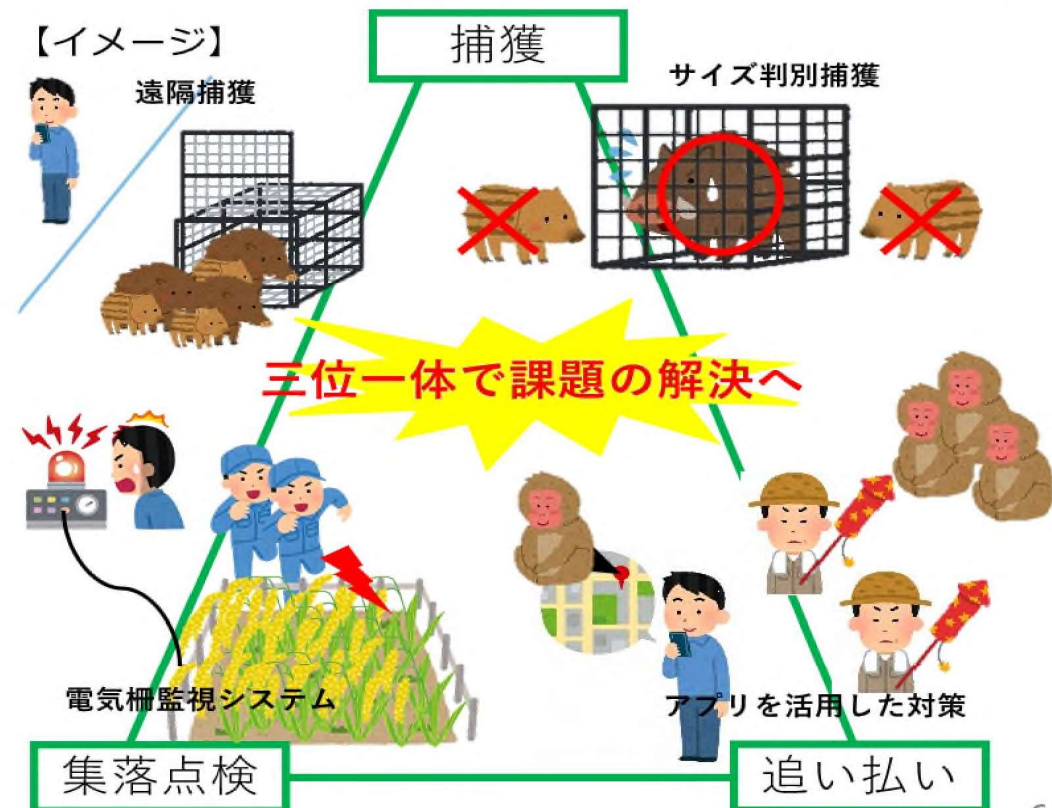
- ・イノシシ捕獲に遠隔操作捕獲機器等を活用し、幼獣のみの捕獲や学習個体の発生を防止し、精度の高い一発まるごと捕獲を実施
- ・行政、JA、市民がイノシシ・サルの被害・出没状況を投稿・確認できるアプリを導入し、各集落による迅速な自助・共助の対策を実施
- ・電気柵監視システムによる、柵管理の効率化と修繕の迅速化

## 活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・センサーカメラ
- ・遠隔捕獲機器
- ・サイズ判別捕獲機
- ・電気柵監視システム
- ・鳥獣出没等確認アプリ

## モデル地区の普及範囲

- ・県内外（東日本）





# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑧】

スマート捕獲等普及加速化事業

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	福井県越前市	シカ、イノシシ、サル	◎	○	○	—

## 現状・課題

以前はイノシシによる被害が中心であったが、近年は二ホンジカが目撃、被害が増加しており、また二ホンザルの群れの加害レベルが悪化している（令和5年の被害額は27,196千円（前年比295%）と激増）。

これまで、侵入防止柵を集落単位で整備し、地元住民により設置、維持管理および山際の草刈りなどを行ってきたが、高齢化・人口減少などで適切な維持管理が難しくなってきた集落も出てきている。

## 事業概要

- ・遠隔捕獲機器・捕獲通知機器等による、捕獲の効率化・見回りの省力化
- ・電気柵監視システムによる電気柵点検の省力化
- ・GPSを活用したサルの個体群の動態把握と、威嚇音を搭載したドローンによる追払いの実施

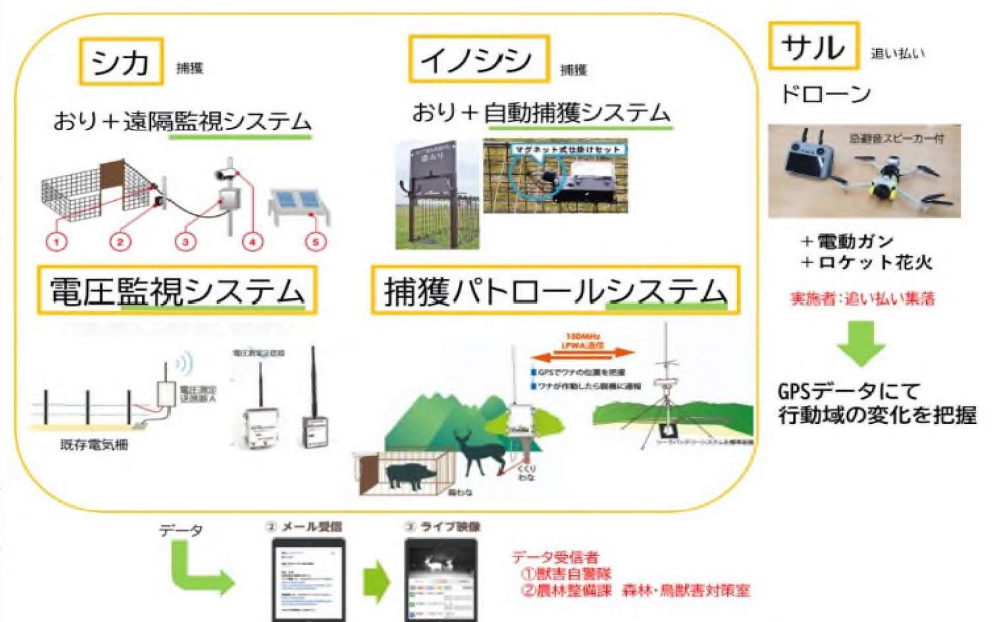
## 活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・ドローン
- ・GPS首輪発信機
- ・捕獲通知機器
- ・遠隔捕獲機器
- ・サイズ判別捕獲機
- ・電気柵電圧監視システム

## モデル地区の普及範囲

- ・県内外

## 【イメージ】





# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑨】

## 北陸管内の獣肉処理施設



### ■石川県

- ① 里山食品株式会社(穴水町)
- ② 山本ジビエ処理施設(七尾市)
- ③ 合同会社のとし団(羽咋市獣肉処理施設)(羽咋市)
- ④ ジビエ工房三谷(金沢市)
- ⑤ Hunter Base JAPAN(白山市)
- ⑥ (一社)白山ふもと会(白山市)
- ⑦ ジビエアトリエ加賀の國(小松市)

### ■新潟県

- ⑧ 柿崎ブーシェリー(上越市)
- ⑨ 雪国Base(十日町市)
- ⑩ 惣右工門(糸魚川市)
- ⑪ じび栄(南魚沼市)
- ⑫ ホタル喰楽ぶ(長岡市)
- ⑬ 長吉(新潟市)
- ⑭ 河合淡水魚(新潟市)
- ⑮ KOKAJIYA(新潟市)
- ⑯ 株式会社本間商事(新潟市)
- ⑰ 天然物専門店
- ⑱ 善(三条市)

### ■富山県

- ⑲ グランマルシェタケダ(株)(富山市)
- ⑳ 大長谷ハンターズジビエ(富山市)
- ㉑ (株)にくまる(高岡市)
- ㉒ 一般社団法人 狩猟屋(黒部市)
- ㉓ NPO法人 新川地区獣肉加工施設(阿津の森工房)(黒部市)
- ㉔ (株)K・MEAT(ケーミート)(上市町)
- ㉕ いのや(南砺市)
- ㉖ ジビエスタ立山(株)(立山町)
- ㉗ (株)Dotok(南砺市)
- ㉘ mutty's(株)(氷見市)

### ■福井県

- ㉙ ふくいうエストサイドジビエの会(福井市)
- ㉚ 美浜町新庄獣肉加工施設(BON1029)(美浜町)
- ㉛ 嶺南地域有害鳥獣処理加工施設(若狭ジビエ工房)(若狭町)
- ㉜ 若狭高浜いのしかい(高浜町)

注)県から報告のあったジビエの処理加工施設を取りまとめたものであり、管内の全ての施設を網羅したものではありません。





# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑩】

生息管理 『動物位置情報クラウドシステム ANIMAL MAP』

〔株式会社サーキットデザイン〕

## 害獣の生息位置を地図上でタイムリーに**把握**！

→ 被害低減のために、効果的な檻の設置や追払い等の対策ができる。

### 機器情報

対象獣種：ニホンザル、シカ、アライグマなど

#### ① GPS首輪発信機を装着



#### ② 位置を正確に把握する



#### ③ 現状を正しく理解し必要な対策につなげる



地域の理解を得る  
データをもとに**現状を共有**

地域が協力して  
被害低減のために  
**必要な対策を実施**

- ・ネットで囲う
- ・エサ場をなくす
- ・隠れ場所をなくす



**地域の協力体制づくり、対策の強化**



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑪】

## A I カメラとの連携概要

- ・熊出没をカメラで検出、最寄りの**同報無線設備を自動的に起動・放送**し注意喚起。
- ・**その他のメディア**（メール・LINE・X（旧Twitter）など）に対しても自動連携が可能。
- ・熊の出没を**早期にお知らせ**することで**住民の皆様の安心・安全の確保**に貢献。



※獣害自動検出AIカメラ（Bアラート）は、(株)ほくつうの登録商標です。

**Hokutsu**



# 【知って防ごう 野生鳥獣被害⑫】

MONSTER WOLF

使って見て分かる、その効果の理由に納得!!



## 日本初! オオカミ型LED 野生動物撃退装置

経済産業省 第8回ものづくり日本大賞  
北海道経済産業局長賞 受賞

国際特許  
出願済み



約90dBの大音響と  
高輝度点滅LEDで威嚇し

天敵となるオオカミで  
警戒させ!

50種類以上の音で  
慣れさせず

首が動くことにより  
生きているように!

特殊な音と光で慣れさせない!

### 逃げるシカ



- ◎ 野生動物を殺さない究極のオオカミ型野生動物撃退装置です
- ◎ 天敵オオカミに模することで野生動物に危険を察知させます
- ◎ クマ、シカ、イノシシ等への実際の忌避効果を確認しています

### 逃げるクマ



- ◎ 初号機(モンスタービーム)から、既に10年以上の実績があります
- ◎ ユーザー様から忌避効果が継続中という声を多数いただいています
- ◎ 野生動物と人間社会の共存共栄を提案します

MONSTER WOLF



ビート畑を監視するモンスターウルフ(北海道美幌町)



大学のシカ飼育場での検証風景(北海道網走市)

- ★赤外線センサーに野生動物が近づくと感知し起動します
- ★オオカミに模した声を基本に、大音響(約90dB)で響きたり広範囲に伝えます(到達距離:約1km)
- ★生きている様に首が左右に動き、目の部分が赤色LED、後尾青色LEDが強烈に点滅し、威嚇します
- ★下腿の部分から照射するLEDで、オオカミのシルエットが浮かび上がらせ、外観で威嚇します
- ★内蔵タイマーで任意の時間間隔にて起動、停止させることが可能です
- ★音声データーは慣れを防止するため、50種類以上の音源をランダムに発声します
- ★電源は12Vカーバッテリーで、ソーラーパネルも併用可能なため非常に省エネです
- ★骨組み等は、単管パイプで設計されており、非常に頑丈な構造です
- ★設置、移設が簡単で、野生動物が出やすい場所(けもの道等)に、直ぐに設置できます

### モンスターウルフ構造図



### 基本仕様

機種名: モンスターウルフ(型式:MW-MB02-DC12)

搭載LED: 高輝度仕様...目玉(前方威嚇用)

前足下部(ボディ照射用)

後尾(後方威嚇用)

使用電源: DC12V(車載用バッテリー/ソーラーパネル接続)

※別売ACアダプターにて100V電源使用可

定格電圧: 3.8A

定格電力: 9.6W

音響: 防水スピーカー(10W/90dB)

重量: 19.6kg

起動方法: 温度感知センサー/インターバルタイマー

(注)当装置は設置状況や周辺環境などにより、忌避効果を100%保証するものではありません。

### 販売総代理店

モンスターウルフのお問い合わせは、こちらまでご連絡ください。

株式会社 ウルフ・カムイ WOLF KAMUY

〒063-0811 札幌市西区琴似1条1丁目3番12号206号

Tel 011-624-5623 Fax 011-624-5637

HP: <http://www.wolfkamuy.com/>

E-mail: [info@wolfkamuy.com](mailto:info@wolfkamuy.com)



### 開発・製造元

株式会社 太田精器 Ohta Seiki  
株式会社 太田精器

〒079-0304 北海道空知郡奈井江町字奈井江609番地

Tel 0125-65-2759 Fax 0125-65-2765

HP: <http://www.ohtaseiki.co.jp/>



WOLF KAMUY

WOLF KAMUY